

おめでとう10周年 新しい歴史を重ねよう



10周年記念デザイン



記念キャラクター
「トクシー」

鹿児島高等特別支援学校

始動

創立10周年を迎えた本校は、本県初の職業教育を中心とした高等部教育を行う特別支援学校として平成24年に鹿児島県立鹿児島高等学校と同一敷地内に開校し、これまでに二四〇人の生徒が巣立っています。
令和4年度は、89人の生徒が、それぞれの進路実現を目指し「学び合う高め合う 助け合う」の校訓の下、日々学習にスポーツに励んでいます。

業所等にも参加していた
多くとともに、在校生が
日頃作業学習等で学んだ
力を発揮する場にしよう
と企画が進められました。

臨機応変

本校・鹿児島高等特別支援学校（高特支）としては初めての周年行事となる創立10周年記念式典に向けて、令和2年7月に「準備委員会」、令和3年3月に「創立10周年記念事業実行委員会」を当時のPTA会長を実行委員長として立ち上げました。

また、一連の周年行事に向けて、生徒会が中心になり、スローガン「おめでとう10周年新しい歴史を重ねよう」、記念デザイン、記念キャラクター「トクシー」が決定しました。

今も収束を見せない新型コロナウイルス感染症の感染拡大が危惧される真只中でした。それでも、実行委員をはじめとするPTA会員の愛校心は深く、何とか在校生、卒業生の心に残る、これからの高特支の発展につながる周年行事にしたいとの思いで、「記念体育祭」、「記念文化祭」、「記念マルシェ」を実施することが決定しました。特に「記念マルシェ」は、卒業生が就職している事



高特支カップ（人文字）

回顧と矜持

鹿児島県立鹿児島高等学校との合同文化祭を「記念文化祭」と位置付け、令和3年11月に実施しました。ステージ部門では、これまでの本校の歩みや卒業生への感謝の気持ち、未来へつなぐ思いなどが、カップス演奏とともに発

る「ために」、同年12月に「高特支カップ」という形で体育祭の代替行事を行い、学年対抗リレーや「10周年」の人文字づくりなど、保護者の声援の中、全校生徒で取り組みました。「ぐりぶ」と「さくら」の特別参加もあり、大いに盛り上がりました。



文化祭（カップス）

最善を尽くす

前年度から綿密に進めてきた記念式典でしたが、直前の4月末には再び新型コロナウイルス感染症が感染拡大に転じた。当初予想していた来賓の数を大幅に減らし、保護者の参加も見送りという苦渋の決断を下すこととなりました。また、同日に開催予定でありました「記念マルシェ」については、延期せざるを得ない状況となりました。

令和4年5月14日、式典当日は、東條県教育委員川鹿島東高等学校長、歴代校長、PTA会長

など10人の来賓にお越しいただき、規模が縮小された式典ではありましたが、10周年を飾るにふさわしい厳粛な雰囲気の中で実施することができました。

完遂

延期していた「記念マルシェ」を令和4年7月22日に参加者を制限する形ではありましたが開催することができました。生徒実行委員会を中心に計画、準備していた行事でもあり、生徒たちは作業製品の販売や喫茶サービスの提供など久しぶりの対面での活動に生き生きとした表情を見せていました。

未来へ

新型コロナウイルス感染症に翻弄された創立10周年記念事業でしたが、実行委員をはじめとする関係者の皆様の御協力で終えることができました。高特支の新たな一歩を踏み出す礎になると確信しています。

この厳しい状況の中、前向きに頑張った生徒たちは、本校の大きな宝です。PTAの皆様、地域の皆様、今後とも生徒の成長と飛躍のためにお力添えいただければ幸いです。

（教頭 新條 嘉一）



記念式典（実行委員長）

この厳しい状況の中、前向きに頑張った生徒たちは、本校の大きな宝です。PTAの皆様、地域の皆様、今後とも生徒の成長と飛躍のためにお力添えいただければ幸いです。